

2022 年度教育研究活動報告用紙（様式9）

氏名	木村 宏和	職名	教授	学位	博士（農学）九州大学（1999年）
----	-------	----	----	----	-------------------

研究分野	研究内容のキーワード
応用微生物学 食品科学	未利用バイオマスの有効利用 発酵食品の美味しさ 採卵鶏の腸内有用細菌

研究課題
<p>発酵食品の美味しさの客観的評価法の確立：発酵食品の美味しさに影響を与える、糖、有機酸、微生物叢を検討し、官能試験や味覚センサー分析値との関連性について検討する。</p> <p>未利用バイオマス（農産廃棄物）と鶏腸内有用乳酸菌を用いた新たな採卵鶏用飼料の開発：農産廃棄物を鶏腸内有用乳酸菌（免疫賦活化乳酸菌）でサイレージ化し、それを用いた新たな採卵鶏用飼料を開発する。</p>

担当授業科目
食品衛生学実験 前期
微生物学 前期
食品機能特論 前期
食品衛生学 後期
加工食品機能論 後期
栄養学概説 後期 オムニバス
管理栄養士演習 I 通年 オムニバス
実践活動

授業を行う上で工夫した事項（※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項）
<p>授業科目名【食品衛生学実験】</p> <p>オリジナルの実験書を作成した。市販の実験書に載っていない注意点や取り組みなどを説明し、学生の理解力向上に努めた。</p>
<p>授業科目名【食品衛生学】</p> <p>講義用ワークブック（重要用語を穴埋め形式で書かせる）を作成した。講義中に板書ばかりに集中することを避け、復習が容易になるように努めた。</p>
<p>授業科目名【加工食品機能論】</p> <p>オリジナルの講義資料を作成した。市販の教科書に載っていない最新の加工技術などを紹介し、学生の意欲向上に努めた。</p> <p>講義用ワークブック（重要用語を穴埋め形式で書かせる）を作成した。講義中に板書ばかりに集中することを避け、復習が容易になるように努めた。</p>

授業科目名【 】

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本生物工学会 日本農芸化学会 日本乳酸菌学会 バイオテクノロジー研究推進会		1994年～現在に至る 1994年～現在に至る 2006年4月～現在に至る 2013年4月～現在に至る

2022年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文)				
(翻訳)				
(学会発表)				

外部資金 (科学研究費補助金等) 導入状況 (本学共同研究費を含む)			
(1) 共 同 研 究			
研 究 題 目	交付団体	研 究 者 ○代表者 () 内は学外者	交付決定額 (単位:円)

「食と健康」に関する西南女学院大学・九州歯科大学連携公開講座	西南女学院大学地域貢献活動助成金	○ 坂田郁子 高崎智子 木村宏和 船越淳子 西村貴子 永原真奈見 石井愛子 永田純美 竹下諄美 矢野夏実 伊藤由里子 学生6名 (邵仁浩) (中道敦子) (船原まどか) (辻澤利行) (学生9名)	50,000
--------------------------------	------------------	--	--------

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(2) 個人研究

研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等

団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

2022年度シニアサマーカレッジ講座担当講師 学生募集委員 2022年4月1日～現在に至る 国家試験対策委員 2022年4月1日～現在に至る アドバイザー（2年生）2022年4月1日～2023年3月31日
